

YOKOHAMA-SXIP 2025 報告書

令和4年度採択 大学の世界展開力強化事業～インド太平洋地域等との大学間交流形成支援～「レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム」(YOKOHAMA-SXIP) 2025 年度受入れプログラムは、8月26日にオーストラリアから4名、インドから14名の学生が到着し、横浜国立大学(YNU)の学生18名とともに6グループに分かれてプログラムに参加しました。今年のテーマは、カーボン・ニュートラル、サーキュラー・エコノミー、ネイチャー・ポジティブとその関係についてです。

8月27日、初日はガイダンスと池島祥文教授による概論講義1「Introductory to Circular Economy」が行われました。



概論講義1

8月28日、2日目は企業訪問で、グループ1、2、3は東芝エネルギーシステムズ株式会社と富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、グループ4、5、6は三和石産株式会社と株式会社リコーを訪問しました。受け入れてくださった各企業の皆様には、カーボン・ニュートラル、サーキュラー・エコノミー、ネイチャー・ポジティブに関連する活動を丁寧に紹介していただき、厚く御礼申し上げます。



東芝エネルギーシステムズ株式会社



株式会社リコー



富士フイルムビジネスイノベーション株式会社



三和石産株式会社

8月29日には、光島重徳教授による概論講義2「A techno-economic analysis of carbon neutral energy system for Japan with hydrogen technologies」とラボツアーが行われました。

週末の8月30日には、YNUの学生が企画した横浜市内の文化ツアーを楽しみました。

9月1日には、松田裕之教授による概論講義3「Synergy and Trade-off between Nature Positive and Carbon Neutral」と、長谷川健治教授による日本文化に関する講義が行われました。



概論講義 2



概論講義 3

9月2日、YOKOHAMA-SXIP 2025の参加者は2つのルートに分かれて4社を訪問しました。JFEエンジニアリング株式会社、住友重機械工業株式会社、株式会社オカムラ、株式会社ファンケルの皆様には、ご準備と温かい歓迎に心より感謝申し上げます。



株式会社ファンケル



株式会社オカムラ

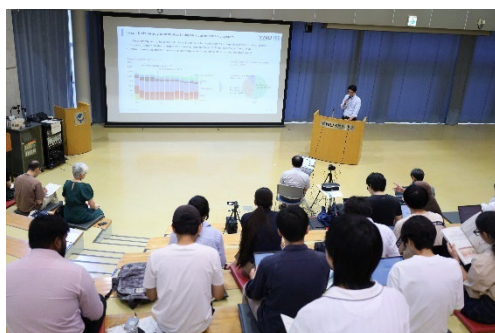


JFE エンジニアリング株式会社



住友重機械工業株式会社

9月3日にはYNU 国際シンポジウムの1日目が開催されました。グリフィス大学の Mirela Malin 氏、ペロール工科大学の K. Govardhan 氏、本学の大槻貴司准教授と本倉健教授には、この機会にご貢献いただき、心より感謝申し上げます。



大槻貴司准教授



Mirela Malin 氏



K. Govardhan 氏



本倉健教授

昼食時に開催されたコロキウムは、シンポジウムに参加している YNU の各研究室の学生が交流する機会となりました。YNU 校友会の皆様には、コロキウムへのご支援に深く感謝申し上げます。

YOKOHAMA-SXIP 2025 の参加者は、ポスターセッションで積極的に質問を行い、自身の研究成果を発表しました。



9月4日 YNU 国際シンポジウムの2日目は、6つの学生グループによるグループ演習発表セッションでした。各グループはたいへん入念に準備しており、すべての発表は企業から提示された課題に対する深い考察がなされていました。審査の結果、グループ5（パンジャブ大学、ニューカッスル大学、YNU のメンバー）が最優秀賞を受賞しました。6グループともに素晴らしい発表であったため、非常に困難な審査となりましたが、審査員の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。また、野村證券様とご来賓の皆様には、発表セッションへのご貢献に深く感謝申し上げます。



グループ 1



グループ 2



グループ 3



グループ 4



グループ 5



グループ 6



最優秀（ベストプレゼンテーション）賞

YOKOHAMA-SXIP 2025 受入れプログラムは閉会式をもって終了し、9月5日に協定校の学生が帰国しました。



文部科学省（MEXT）、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のご支援に御礼申し上げますとともに、本プログラムに積極的に参加して下さったすべての皆様に心より感謝申し上げます。